

# みぢかな季節かんじ隊

## 調査結果報告書（ヒガンバナ）



岩神稻荷神社

### 目次

1 調査の目的	5 調査地点
2 調査の内容	6 参加者の声・写真
3 調査の結果	7 参考資料
4 調査データ	8 事務局より

令和5年10月  
前橋市 環境部 環境森林課



## 1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、令和3年から、次世代を担う子ども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にヒガンバナの調査を実施しました。

## 2 調査の内容

調査の対象は、私たちが身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを勘案し、「ヒガンバナ」としました。

### (1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集します。(調査に参加する方を「隊員」といいます。)
- ②隊員は、調査するヒガンバナを決め、調査を行います。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出します。

### (2) 調査の概要

テーマ	調査内容	調査期間
ヒガンバナの調査	開花日	8月15日(火)～9月30日(土)

## 3 調査の結果

### ヒガンバナ

- ・調査隊員数：21名
- ・調査地点数：29地点
- ・開花日：9月4日～9月30日
- ・平均開花日：9月17日



### 〈参考①〉R4みちかな季節感じ隊調査結果

- ・調査隊員数：31名
- ・調査地点数：40地点
- ・開花日：9月4日～9月24日
- ・平均開花日：9月12日



### 〈参考②〉前橋地方気象台の観測データ

観測	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	9月14日	9月20日	9月11日	9月14日	9月25日	9月28日
平年差	+1	+7	-2	+1	+12	+15
昨年差	+2	+6	-9	+3	+11	+3

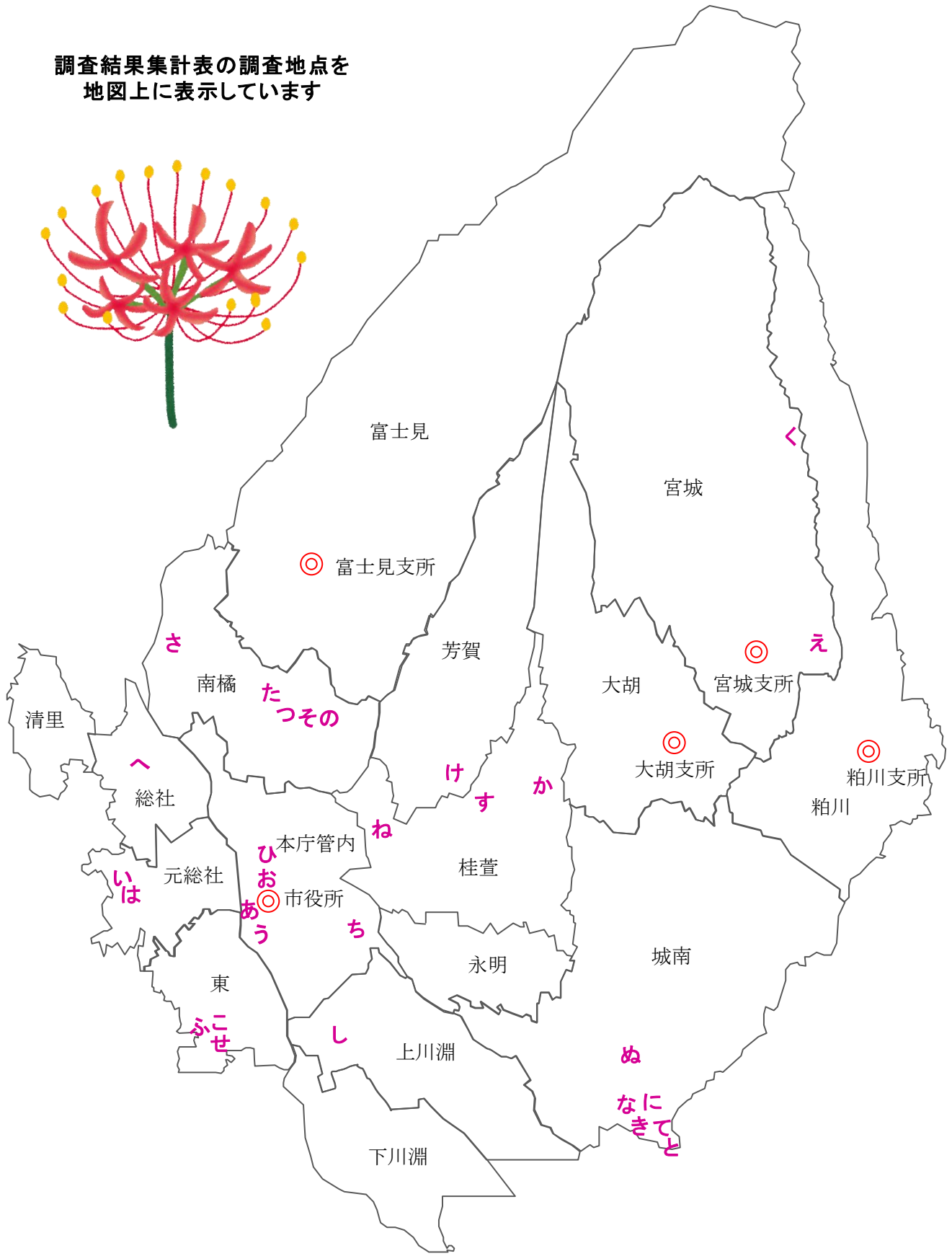
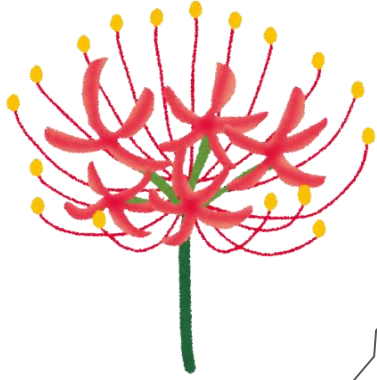
平年差(昨年差)が、正の数の場合「平年(昨年)より遅い日数」、負の数の場合は、「平年(昨年)より早い日数」を示しています。

#### 4 調査データ

調査結果集計表						
番号			調査地点		調査結果	
1	2	3	4	5	6	7
受付番号	隊員番号	調査地点	町名	地点名	開花日	周りの環境
1	1	あ	大手町	自宅	9月17日	その他
2	2	い	元総社町	自宅	9月18日	住宅街 公園・墓地
3	3	う	天川原町	群馬県立聾学校	9月22日	学校・公共施設
4	4	え	馬場町	田んぼ	9月22日	田んぼ・畑
5	5	お	平和町一丁目	横地眼科医院 駐車場北側	9月27日	住宅街
6	6	か	亀泉町	自宅庭	9月20日	住宅街
7	7	き	下増田町	田んぼの土手	9月4日	田んぼ・畑
8	8	く	苗ヶ島町	千本桜公園東側	9月15日	森・林
9	9	け	鳥取町	自宅	9月9日	田んぼ・畑
10	10	こ	箱田町	自宅敷地内	9月23日	住宅街
11	11	さ	川端町、関根町の境界	用水路脇	9月6日	田んぼ・畑
12	12	-	-	-	-	-
13	13	し	上佐鳥町上野地区	西光寺の北側土手	9月18日	土手
14	14	す	上泉町	田んぼ, 細道(土手)	9月19日	田んぼ・畑
15	15	せ	箱田町	箱田町の空地	9月10日	住宅街
16	16	そ	上細井町	八幡山南橋林の広場(南橋忠霊塔) 前橋北消防署北側	9月19日	森・林
17	16	た	荒牧町一丁目	知人個人宅(桃ノ木川沿い)	9月20日	住宅街
18	16	ち	文京町	二子山公園(古墳)	9月17日	学校・公共施設
19	16	つ	荒牧町	桃ノ木川遊歩道川沿い	9月20日	土手
20	16	て	下増田町	両毛線南エリア田畔	9月16日	田んぼ・畑
21	16	と	下増田町	まえばしフットボールセンター東側 荒砥川土手	9月10日	土手
22	16	な	下増田町	広瀬川北側田園地帯の畔道(東西)	9月10日	田んぼ・畑
23	16	に	下増田町	蓮華院～荒砥川(木三橋) 田園畔道	9月15日	田んぼ・畑
24	16	ぬ	上増田町	北関東高速道～共愛学園高校サッカー場の田園地帯の畔道	9月17日	田んぼ・畑
25	16	ね	上沖町	群馬県立健康科学大学前の桃ノ木川土手(川側)	9月27日	土手
26	17	の	上細井町	八幡山公園	9月18日	公園・墓地
27	18	は	元総社町	染谷公民館	9月19日	土手
28	19	ひ	昭和町三丁目	岩神稻荷神社	9月24日	その他
29	20	ふ	箱田町	滝川西側	9月30日	土手
30	21	へ	総社町植野	二子山古墳	9月19日	住宅街
平均					9月17日	

5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を  
地図上に表示しています





## 6 参加者の声と写真（一部抜粋）



え 馬場町

ヒガンバナは一般的には赤が多いがピンク系もありますよ？ふしぎですネ？（隊員番号4）

毎年突然赤い花が咲き1、2輪 翌日、翌々日横並びに。  
肥料もやらずに放っている庭脇に・・・  
高齢独居の庭にひととき色をもたらずが笑顔で人を招くとか見ていただく喜びの感情は湧き上がらない。そっと一人見る。（隊員番号1）

猛暑のためか1週間ほど開花が遅れましたが、いつものように美しく咲いてくれました。「来年もキレイに咲いてね！ヒガンバナちゃん！」（隊員番号10）

他の墓地に昨年迄3坪程に開花したヒガンバナはこの暑さ雨の少ないため全滅しました。日陰とかに今年は残った株を移植しました。（隊員番号2）

調査場所が他の方と重なってきましてので今年度から変更しました（天川原中央公園から）  
なかなか咲きませんでしたね！（隊員番号3）



こ 箱田町

昨年より10日以上遅く開花。  
異常な猛暑の為か花が遅かった。  
（9月10日頃に芽が出ました）  
（隊員番号14）



す 上泉町

農家さんが一週間ぐらい前に除草して心配したが数カ所開花している。  
その後この一帯が稲とヒガンバナが咲いた景色が楽しみ。（隊員番号16）

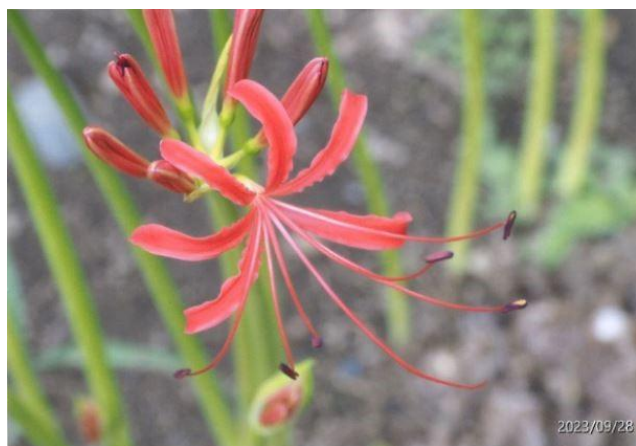




き 下増田町



と 下増田町



ひ 昭和町三丁目

八王子市陵南公園のわきを流れている南浅川から球根を移植したもので、毎年株（球根）を増やし続け秋の到来を知らせてくれます。（隊員番号19）

近くの田んぼの畦道では陽当たりがよく2～3日前から咲き出しました。わが家は柿の木の下なので比べると少し遅れて咲きました。（隊員番号6）

昨年より発芽遅く、数も減った様子。又、日当たりの所の茎は細く弱弱しく日陰には数多く、しっかりした茎立ちです。猛暑でこの様になったと想像しました。（隊員番号8）



く 苗ヶ島町



し 上佐島町

今年は猛暑の影響で、ここ2～3年は9月10日前後に咲いていたのが、1週間遅れて咲きました。暑さと開花の関係について、今後調べてみたいと思っています。（隊員番号13）





除草された数か所よりアスパラガスの茎のように5~10本ぐらいのグループで咲いている。これから斜面や下面一面に咲きほこることでしょう。9/28満開エリア。(隊員番号16)

## ち 文京町

9月2日に行ったときはまだ蕾でしたが、6日にはすでに咲き終わりにかけていましたので、4日には数輪咲いていたと思われます。比較画像を貼っておきます。どこよりも早く咲く場所です。

今年のヒガンバナは色鮮やかな深紅で、どの場所でもよく目立っていました。(隊員番号11)

桜の木々の下でオシロイバナが群生する中で咲きました。昨年まではわずかだったオシロイバナなのですが、ヒガンバナが負けられない心配です。(隊員番号17)

今年は暑さに厳しく散歩に出られず、確認が遅れましたが、華も遅く、驚いています。秋分で墓に行った時は、既に咲いていたのでビックリ！いつもは墓地より早い！(隊員番号20)



## す 上泉町

## 7 参考資料

### ヒガンバナについて

別名マンジュシャゲと呼ばれる多年草で、秋になると道端や墓地、あぜ道などに集団で花を咲かせる。日本各地や中国に分布しており、花が終わった後に葉が出る。

### 種類について

ショウキズイセン：沖縄地方でのヒガンバナの代替品種。黄色い花を咲かせる。

シロバナマンジュシャゲ：ヒガンバナとショウキズイセンの交雑種だと言われており、白色の花を咲かせる。

キツネノカミソリ：オレンジ色でヒガンバナと似た花を咲かせる。花はあまり反り返らない。



## 8 事務局より

一昨年から開始した「ヒガンバナ」の調査ですが、21名の隊員の皆様からご報告をいただきました。隊員の皆様におかれましては、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年度の調査では、猛暑の影響を感想に挙げられている方が多かったのが印象的でした。平均開花日も去年より5日遅く、調査地点によっては、昨年より10日以上遅かったところもあり非常に驚いております。異常気象に負けず、ヒガンバナが今後も秋の風物詩として、咲き続く事を願うばかりです。

今後も「みぢかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

# 「前橋市環境都市宣言」

## 前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

## 前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。